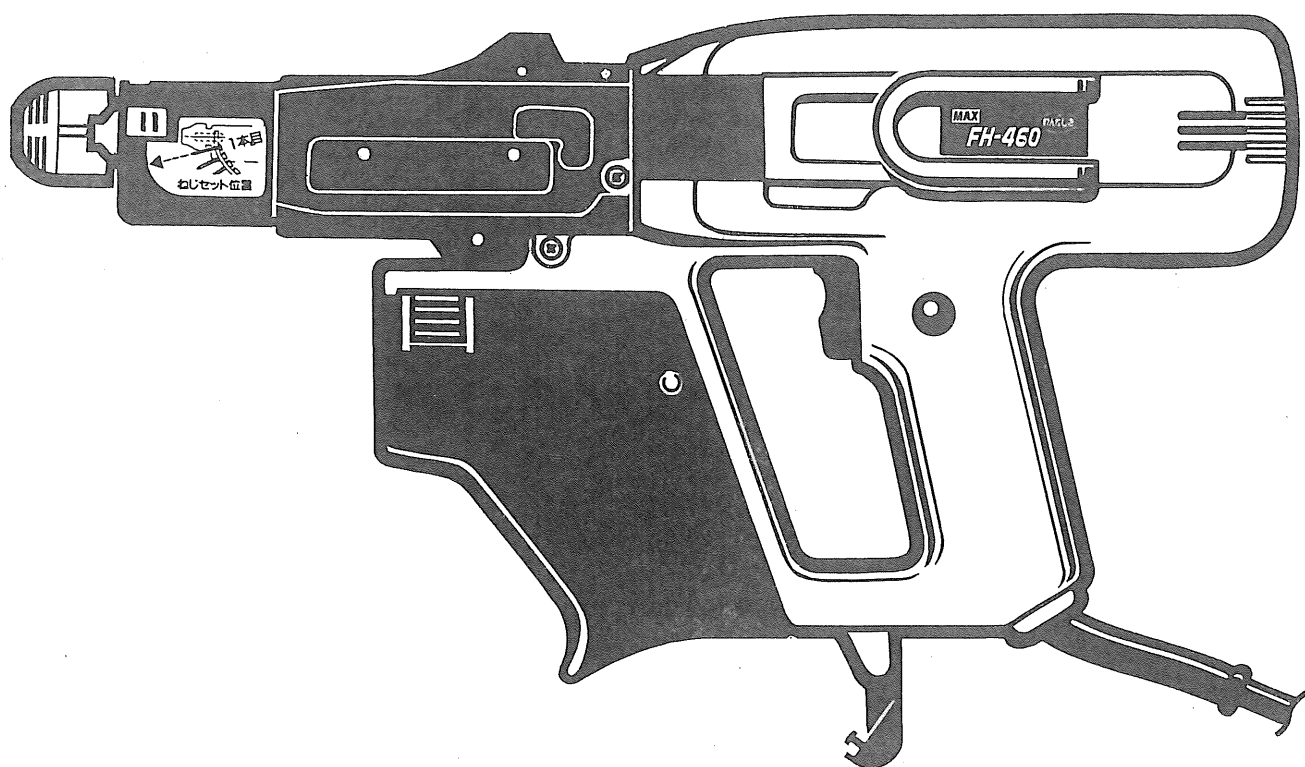


マックスねじ締め機

FH-460

れんねじき

## 取扱説明書



### ⚠ 警告

- 使用前に必ず取扱説明書を読む。
- 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用する。
- 使用の際は、必ず保護メガネを着用する。
- 使用しない時、また調整・修理・れんねじの装填の時は必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜く。
- 射出口を絶対に人体に向けない。
- 揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。
- 異常を感じたら絶対に使用しない。

- この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。
- 本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

**MAX**®

このたびは、マックスねじ締め機FH-460をお買い上げいただきましてありがとうございます。本機のご取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

⚠ 警告：この表示は、取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。

⚠ 注意：この表示は取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

また、取扱いを誤った場合には、ねじ締め機本来の性能を発揮しないばかりでなく本機の損傷につながる事が想定される場合を表しています。

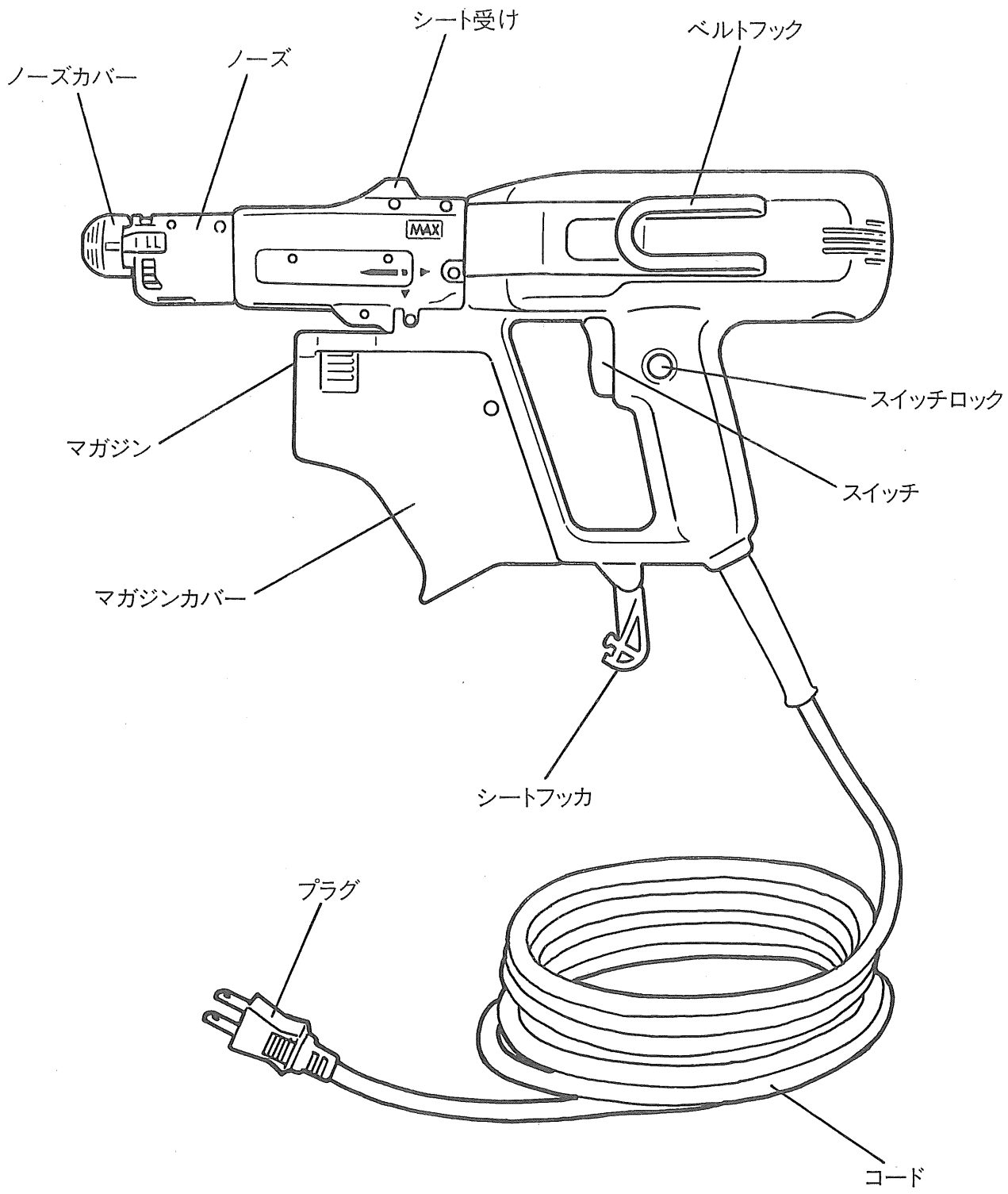
## 目 次

1. 各部の名称	1
2. 安全作業のために	2
3. 仕様および付属品	12
4. 使用ねじ	13
5. 使用方法	14
6. ビットの交換方法	20
7. トラブルの解消方法	21
8. 性能を維持するために	22

全国販売拠点、サービス拠点一覧

# 1

## 各部の名称



## ⚠ 警告

### 安全作業のために

本機は、指定されたねじを「石膏ボードと木材」または「石膏ボードと薄鋼板」にねじ込むことを目的とした電動工具です。指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また、本機に触らせないでください。

## ⚠ 警告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
  - ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
  - 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
  - 作業場は十分に明るくしてください。
  - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
  - 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。  
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. 子供を近づけないでください。
  - 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
  - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
  - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
6. 無理して使用しないでください。
  - 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
  - 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
  - 指定された用途以外に使用しないでください。



**⚠ 警告**  
**安全作業のために**

**⚠ 警告**

8. きちんとした服装で作業してください。
  - だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻込まれる恐れがありますので着用しないでください。
  - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
  - 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。
9. 保護めがねを使用してください。
  - 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. コードを乱暴に扱わないでください。
  - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引張ってコンセントからぬかないでください。
  - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
11. 加工する物をしっかりと固定してください。
  - 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
12. 無理な姿勢で作業をしないでください。
  - 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
13. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
  - 安全に能率よく作業をしていただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
  - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
  - コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買上げの販売店又はマックスサービス(株)に修理を依頼してください。
  - 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
  - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスがつかないようにしてください。

## ⚠ 警告

14. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
  - 使用しない、または修理する場合。
  - 刃物、といし、ビット等の付属品を交換する場合。
  - その他危険が予想される場合。
15. 調節キーやレンチ等は、必ず取外してください。
  - 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取外してあることを確認してください。
16. 不意な始動は避けてください。
  - 電源につないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
  - プラグを電源にさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
17. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
  - 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
18. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
  - 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。
  - 常識を働かせてください。
  - 疲れている場合は、使用しないでください。
19. 損傷した部分がないか点検してください。
  - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
  - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
  - 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。

取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店又はマックスサービス㈱で修理を行なってください。スイッチが故障した場合は、お買上げの販売店又はマックスサービス㈱で修理を行なってください。

  - スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

**⚠ 警告****安全作業のために****⚠ 警告**

20. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- 本取扱説明書およびマックスカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。

21. 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- 本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買上げの販売店またはマックスサービス棚にお申し付けください。

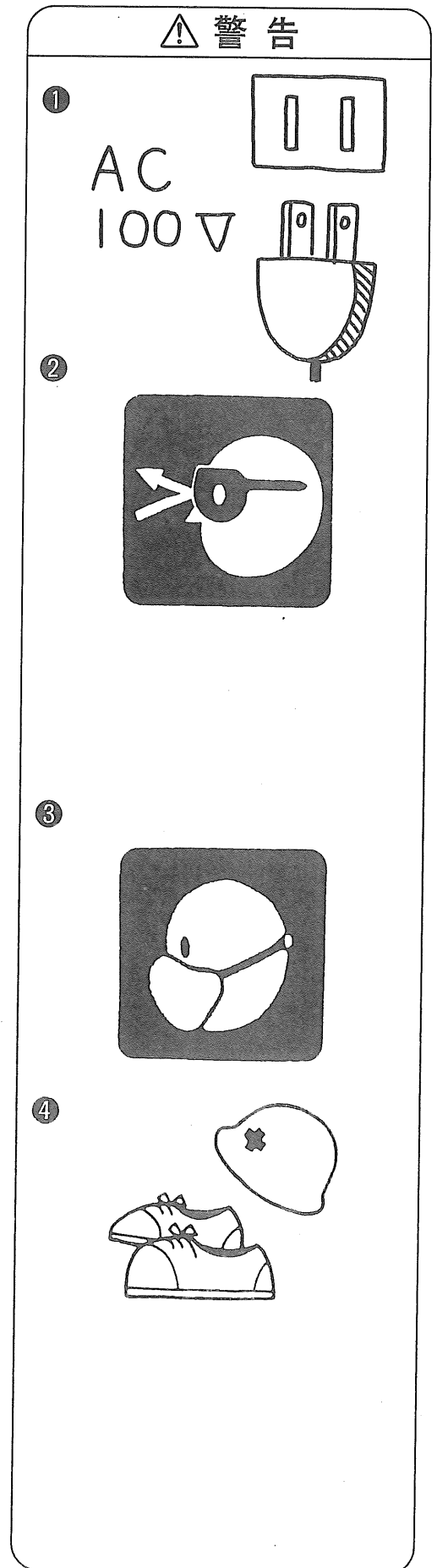
修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

**騒音について**

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県等の条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

**作業前**

- ① **使用電源は銘板に表示してある電圧で使用する。**  
表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
  
- ② **使用の際は必ず保護メガネを着用する。**  
ねじ締め作業をすると、ねじと石膏により粉塵が舞い上がったり万一締め損じたねじがはね返り、眼に入ると危険です。作業本人はもとより付近の人也必须保護メガネを着用してください。  
※保護メガネは別売品で販売しております。お買い求めの販売店又はマックスサービス㈱へお申し付けください。
  
- ③ **防塵マスクを着用する。**  
ねじ締め作業をすると、ねじと石膏により粉塵が舞い上がります。その汚れた空気から鼻・咽喉・気管・肺を守るため防塵マスクを着用してください。
  
- ④ **作業環境に応じた防具を着用する。**  
作業環境に応じてヘルメット、安全靴等の防具を着用してください。
  
- ⑤ **指定のねじを使用する。**  
指定されたねじと異なるものを使用すると本機の故障や事故の原因となりますので、必ず指定のねじ(ねんねじ)をご使用ください。(13ページ参照)



## ⚠ 警告

### 安全作業のために

#### ⑥ 作業場所を常に整理する。

作業場所が乱雑だとつまづくなどして思わぬ事故の原因となります。作業場所は常に整理整頓をして安定した姿勢で作業を行ってください。

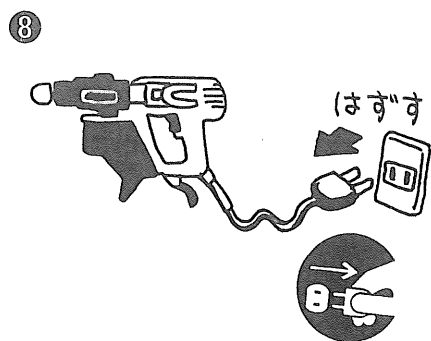
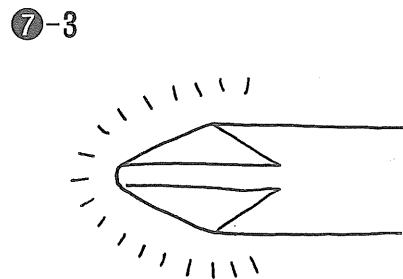
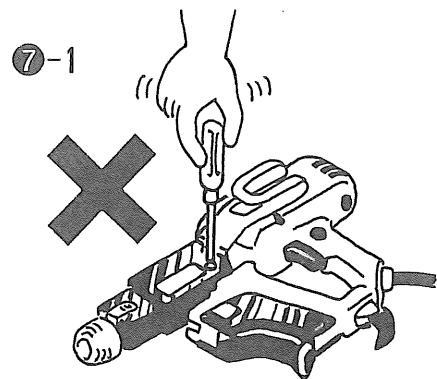
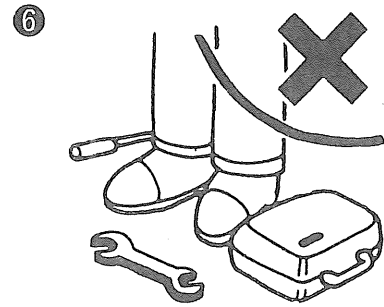
#### ⑦ 使用前に必ず点検する。

使用前に次の点検を必ず行ってください。

1. 機械本体のねじの締め付けが緩んでいたり、抜けていないか。
2. 各部部品が外れていたり、傷んでいないか。
3. ビット先端が割れたり、減っていないか。
4. ノーズはスムーズに動くか。

- ⑧ 長時間使用しますと各部品が消耗してきます。また、不完全なまま使うと、事故や破損の原因となります。異常のある場合は、お買い求めの販売店又はマックスサービス㈱へ点検・修理に出してください。ビット・部品を交換する場合は必ずプラグを電源から抜いて、指定された純正部品をお使いください。

#### ⚠ 警告



作業中

① 機械を人体に絶対に向けない。

機械を人に当て、誤って作動させた場合は思いがけない事故につながります。また、先端部(ねじ出口)付近に手足などを近づけての作業は危険ですから絶対にしないでください。

② ねじ出口(ノーズカバー)を確実に対象物にあてる。

ねじ出口を確実に対象物にあてないと、ノーズカバーが滑って思わぬ方向へねじが押し出されたりして大変危険です。またねじが確実に締め込まれずに保持力低下やねじ頭のキズ、ビットの摩耗の原因となりますのでご注意ください。

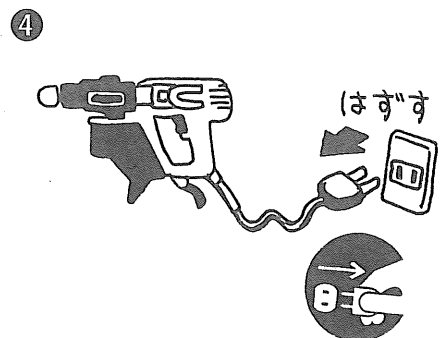
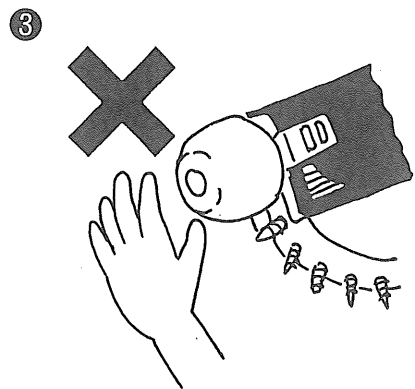
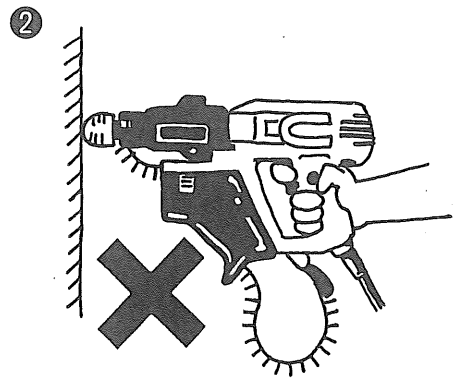
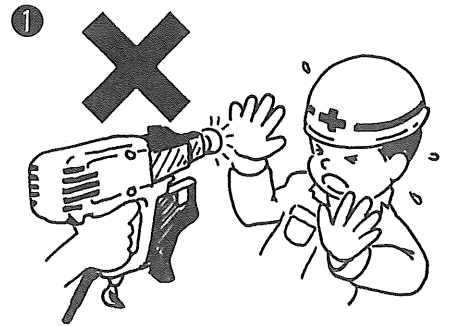
③ 機械摺動部および回転部には絶対に手を近づけない。

先端ノーズ摺動部および回転部に手を触れますと、はさまれたり巻き込まれたりして怪我をすることがありますので絶対に手を近づけないでください。

④ れんねじの交換・ビットの交換・使用しない時は必ずスイッチを切って電源コンセントからプラグをはずしてください。

事故の原因となります。

⚠ 警告



# 2

## ⚠ 警告 安全作業のために

### ⑤ 揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。

ガソリン、シンナー、ガス、塗料、接着剤などのそばでの使用は引火または爆発の恐れがあるので絶対にしないでください。

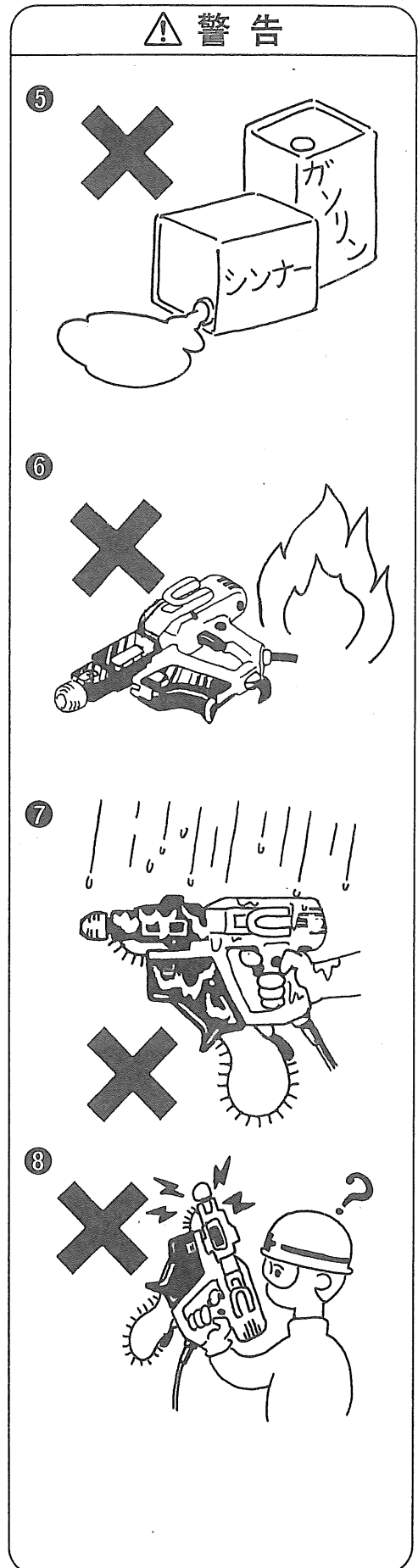
### ⑥ 火気には近づけない。

### ⑦ 雨の中、水のかかる場所では絶対に使用しない。

雨の中、水のかかる場所、濡れた場所、湿った場所では絶対に使用しないでください。感電事故のもととなります。また、本機を雨の中に放置しないでください。

### ⑧ 異常を感じたら絶対に使用しない。

機械の調子が悪い時、異常に気づいた時は直ちにスイッチを切って使用をやめ、点検、修理に出してください。

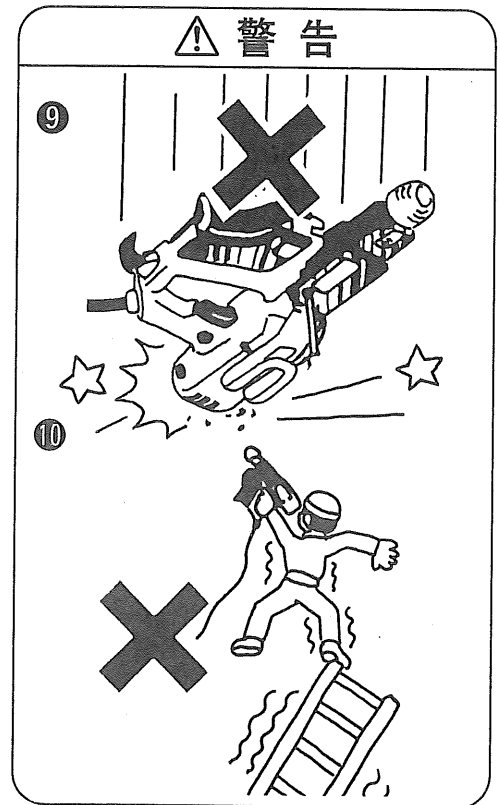


⑨大切に扱う。

落としたりぶついたりすると故障の原因となります。

⑩しっかりした足場を確保する。

無理な姿勢での作業は事故のもとです。



作業後

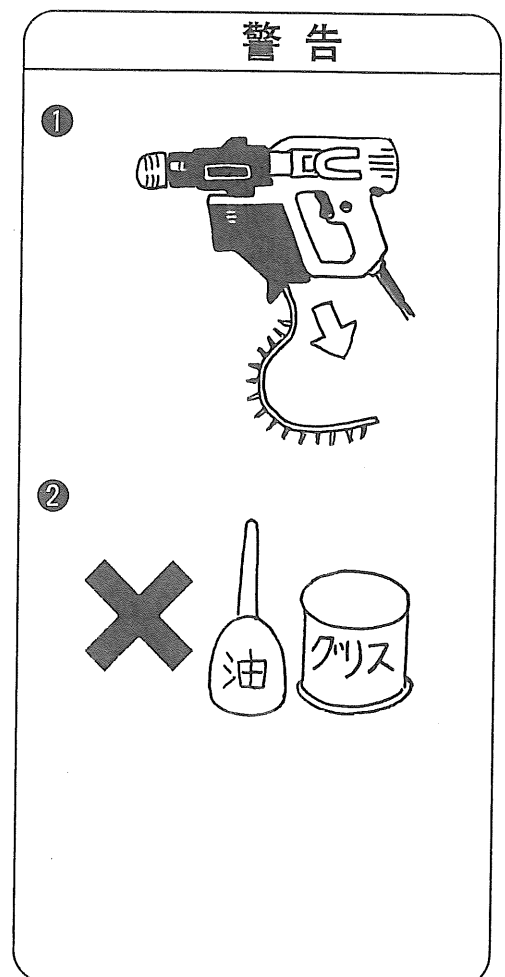
①れんねじを外す。

作業終了後、本機よりれんねじを必ず外してください。

②作業後は必ず本機の清掃をする。

石膏粉やゴミが付着するとノーズの戻不良、ねじ送り不良等機械の性能を損なう原因となります。エアダスタなどで石膏粉、ゴミなどを除去してください。また、ノーズ部に注油しないでください。注油すると、石膏粉やゴミが固着しやすくなります。

※エアダスタはお近くのマックス製品取扱店でお買い求めください。





⚠ 警告  
安全作業のために

③ 本機を保管する。

気温が50℃以上にならず、乾燥した風通しの良い場所に保管してください。

また保管場所は子供の手の届かない高い所や鍵のかかった所にしてください。

⑤ 本機は乾いたやわらかい布でふく。

濡れた布や、シンナー、ベンジンなど揮発性のものは使用しないでください。

④ 本機を大切に手入れする。

より安全に性能を発揮させるため、工具は摩耗、損傷のない最良の状態に保ってください。グリップ部は乾燥させ、清潔にし、油やグリスが付かないようにしてください。

⑥ 本機を分解しない。

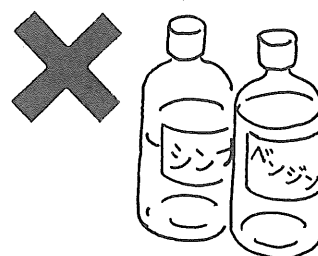
万一故障した時は、点検、修理に出してください。

⑦ 本機を絶対に改造しない。

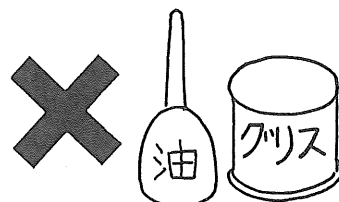
本機を改造すると本来の性能が発揮できないばかりでなく安全性が損なわれますので、絶対に行わないでください。

⚠ 警告

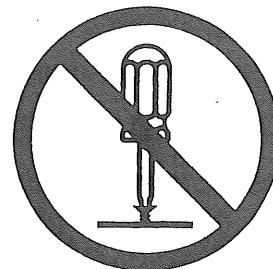
④



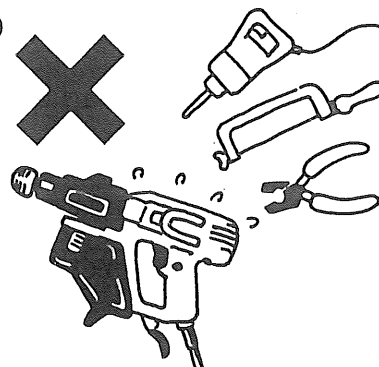
⑤



⑥



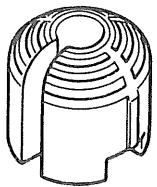
⑦



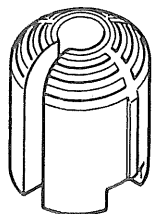
### 3 仕様および付属品

商 品 名	マックスねじ締め機
商 品 記 号	FH-460
寸 法	(H) 181× (W) 86× (L) 378mm
重 量	1.7kg
電 源	AC100V 50/60Hz
定 格 電 流	3.4A
消 費 電 力	330W
無負荷回転数	3,800R. P. M.
電 源 コ ー ド	2芯 5m
絶 縁 方 法	二重絶縁

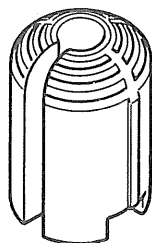
#### <付属品>



ノーズカバー-S



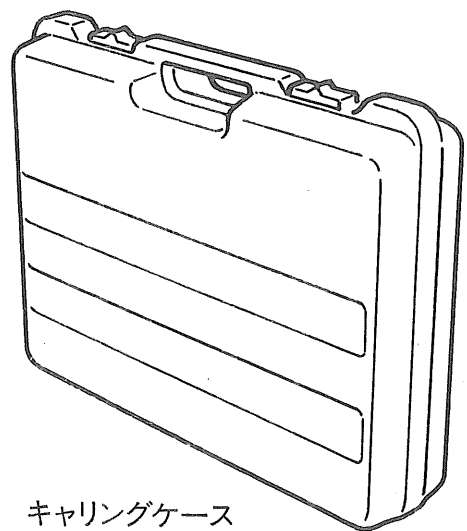
ノーズカバー-M



ノーズカバー-L



ビットB313H2



キャリングケース

# 4 使用ねじ

## 〈使用ねじ〉

名 称	長さ	1連の本数	材 質	表面処理	主な用途
D3825ユニクロ(80)	25mm	80本	鉄	亜鉛メッキ ユニクロ処理	木下地への 石膏ボード取付け
D3828ユニクロ(80)	28mm	80本			
D3828ユニクロ2×4(80)	28mm	80本			
D3832ユニクロ(80)	32mm	80本			
D3841ユニクロ(80)	41mm	80本			
D3825ユニクロ シロ	25mm	50本			
D3825ゴウキン	25mm	80本		鉄-亜鉛 合金メッキ	
D3828ゴウキン	28mm	80本			
D3832ゴウキン	32mm	80本			
D3841ゴウキン	41mm	80本			
D3825ダクロ(80)	25mm	80本		亜鉛メッキ ダクロダイズド コーティング	
D3828ダクロ(80)	28mm	80本			
D3828ダクロ2×4(80)	28mm	80本			
D3832ダクロ(80)	32mm	80本			
D3841ダクロ(80)	41mm	80本			
D3825-S(80)	25mm	80本	SUS410 ステンレス		ジンロイメッキ
D3828-S(80)	28mm	80本			
D3828-S 2×4(80)	28mm	80本			
D3832-S(80)	32mm	80本			
D3841-S(80)	41mm	80本			
D3522ユニクロ	22mm	50本	鉄	亜鉛メッキ ユニクロ処理	薄鋼板・軽天下地 への石膏ボード 取付け
D3522ユニクロ シロ	22mm	50本			
D3525ユニクロ	25mm	50本			
D3525ユニクロ シロ	25mm	50本		亜鉛メッキ+ダクロダイズド	木下地+ コンパネ・サイディング
FL3832ユニクロ	32mm	50本			
FL3841ユニクロ	41mm	50本			
FL3828ダクロ	28mm	50本			
FL3825-S	25mm	50本	SUS410ステンレス	ジンロイメッキ	

※ねじはマックスねんねじを使用してください。

※ねじの種類は変わる場合があります。

# 5 使用方法

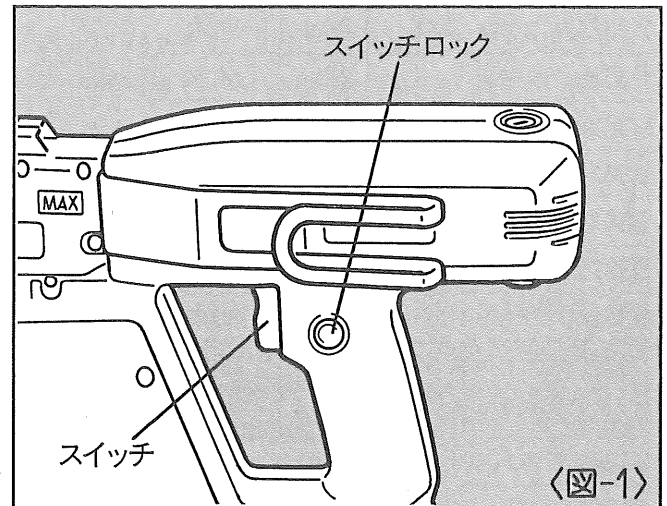
## 1 スイッチ

### ⚠ 警告

- 使用電源は銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となりけがの原因になります。

スイッチはトリガタイプです。スイッチを引くとモーターが回転し、離すと止まります。連続作業の場合は、スイッチを引いた状態でスイッチロックを押すと指を離してもスイッチが入ったままロックされます。切る時は再びスイッチを引いてから離すとロックが解除されモーターは止まります。

〈図-1〉



### 本体の調整の仕方

使うねじの長さに合わせて各部を調整します。

### ⚠ 警告

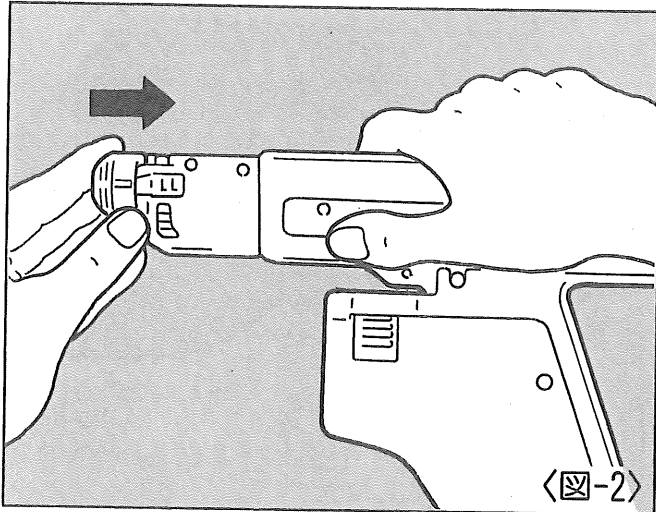
- 必ずれんねじを外し、プラグを抜いてから調整する。  
あやまって作動させた場合、思いがけない事故につながります。

② 使うねじの長さ合ったノーズカバーを本体に取付ける


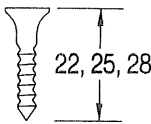

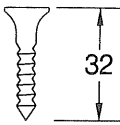

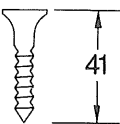
① しっかりした台の上に本体を押えて固定し、指先でノーズカバーの一端に力を加えると外れます。

〈図-2〉

② 取り付ける場合、ノーズカバーのスリット（大）の入っている方が、本体マガジン側を向くようにし、最後まできつちりと押し込んでください。



使用ねじと適合ノーズカバー

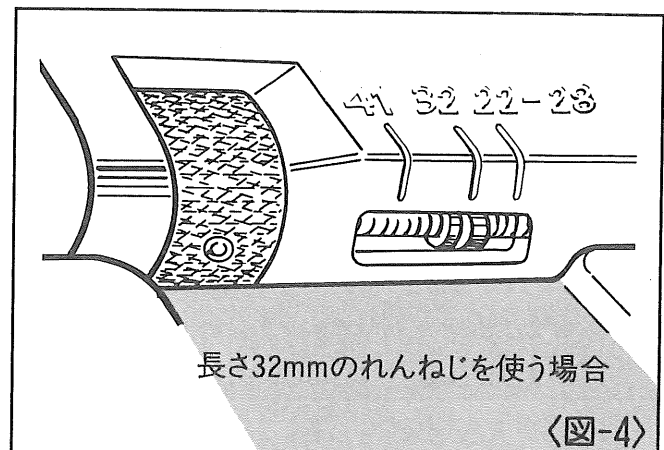
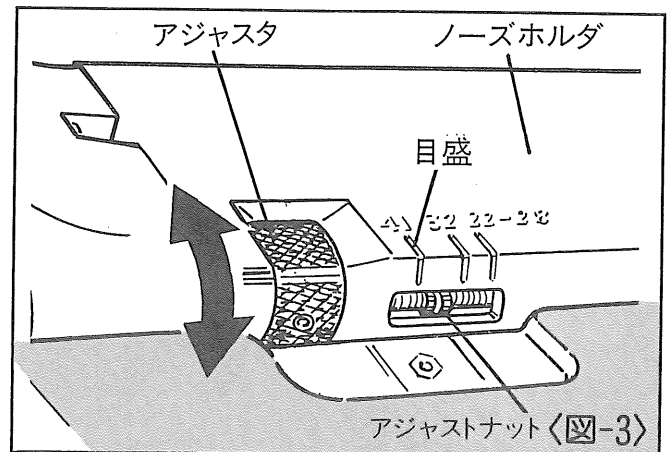
適合ノーズカバー	使用ねじ長さ
 ノーズカバー-S  ノーズカバー-Sは工場出荷時に本体にセットされています。	22mm 25mm 28mm   22, 25, 28
 ノーズカバー-M	32mm   32
 ノーズカバー-L	41mm   41

③ アジャスタを調整する。

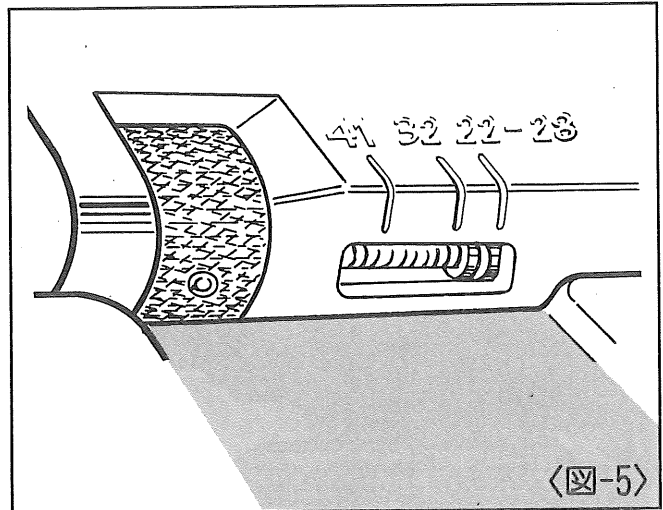
ねじ込み深さを調整します。

① 使うねじの長さに合わせて、アジャスタを回し、アジャストナットの溝をノーズホルダ側の目盛に合わせます。

〈図-3〉〈図-4〉

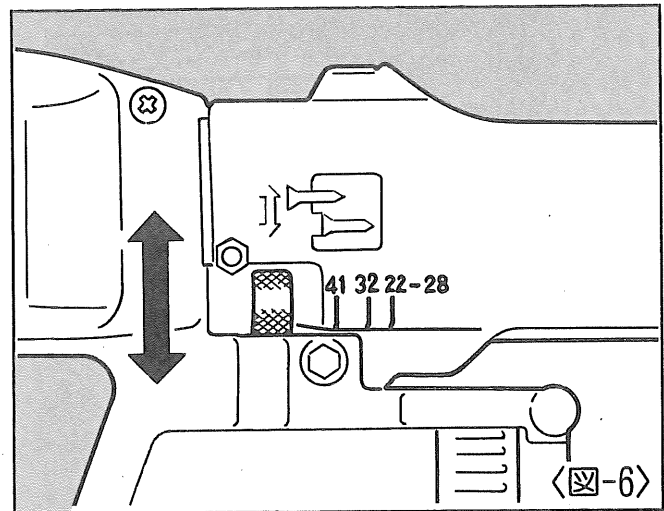


※アジャスタは、工場出荷時、この位置に  
セットされています。 <図-5>



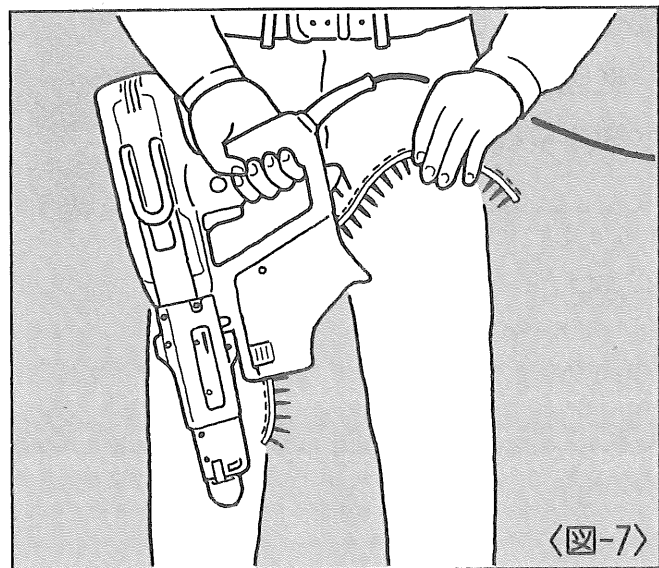
このセッティングで、ねじ頭がボードから  
0.5mm~1mm沈むよう設定されます。

②ねじ込み深さを微調整する時は、アジャ  
スタを回転させ調節します。 <図-6>

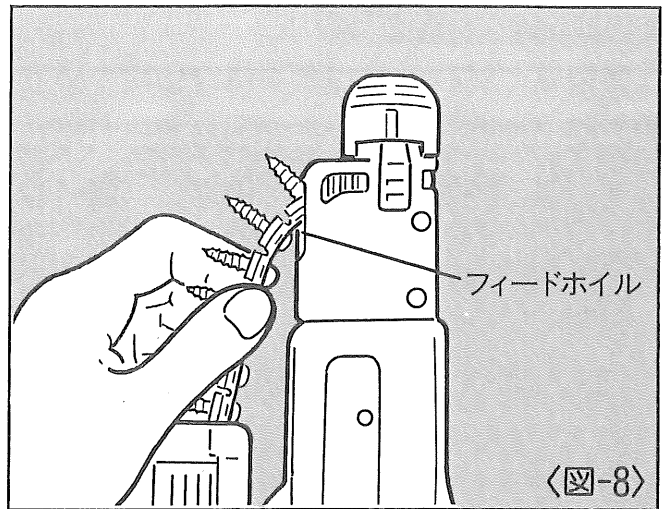


#### ④ れんねじの装填の仕方

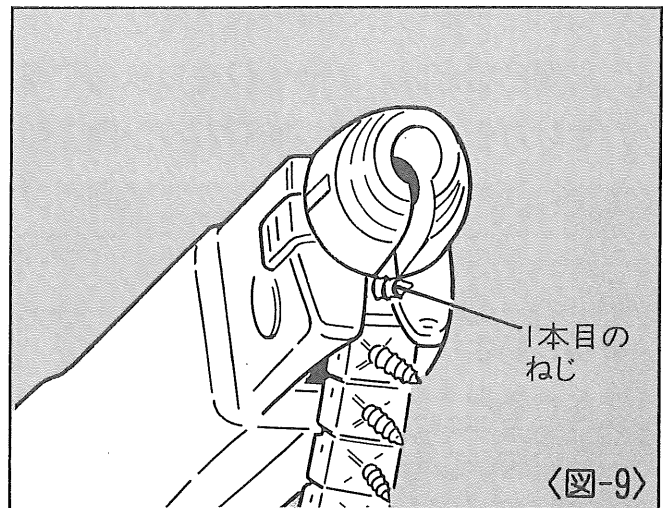
① れんねじをマガジンに通します。 <図-7>



② れんねじの端をフィードホイール口に差し込みます。 〈図-8〉

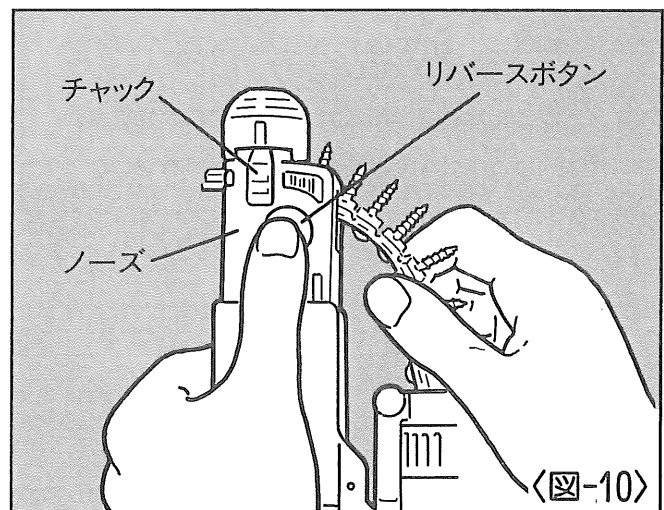


③ 1本目のねじを図の位置にセットしてください。 〈図-9〉



### ⚠ 注意

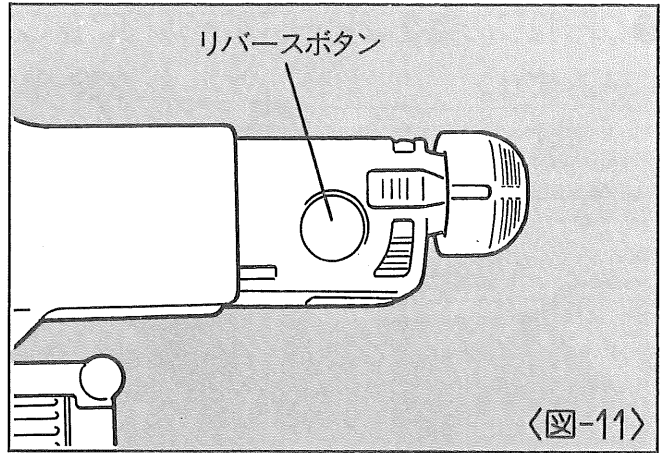
- 楽にねじ込めるようにフィードホイールの回転抵抗を低く設定しています。1本目のねじを図の位置よりも先にセットして使用するとねじ詰まりを起します。 〈図-9〉
- ねじ詰まりを起してしまった場合は、リバースボタン（黄色）を押しながられんねじをマガジン側に引き出し、れんねじを再セットしてください。 〈図-10〉



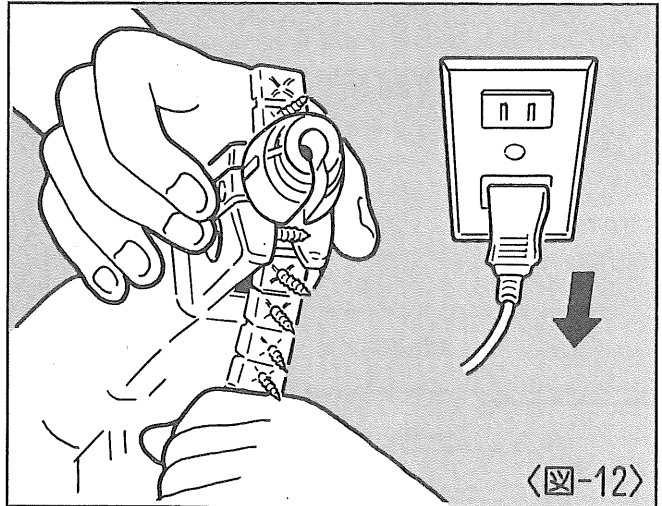


## リバースボタン

作業後などにれんねじを本体から取り外す時に使います。ボタンを押しながられんねじをマガジン側に引き出します。〈図-11〉



●ねじをチャックに咬ませてしまった場合やねじにチャックを乗り越えさせてしまった場合などは、チャックをつまんで開かせながら、れんねじをマガジン側に引き出してください。〈図-12〉

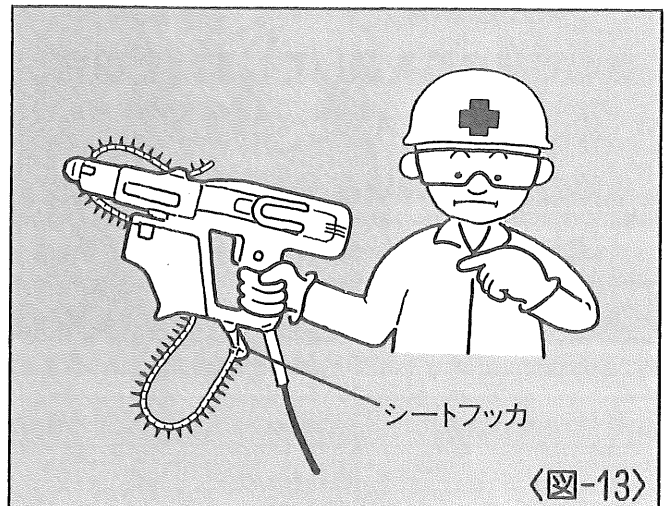


### ⚠ 注意

●ねじ詰まりのまま無理にストロークさせると、ノーズがノーズホルダからリターンしなくなります。このような場合は、必ず電源プラグからコンセントをはずしてから対処してください。詰まって作動させた場合、思いがけない事故につながります。

## シートフッカ

れんねじロング（80本連結）をお使いになる時は、シート後端をシートフッカにとめてください。マガジンから出ているシートが邪魔にならず、また取り回しも良くなります。〈図-13〉

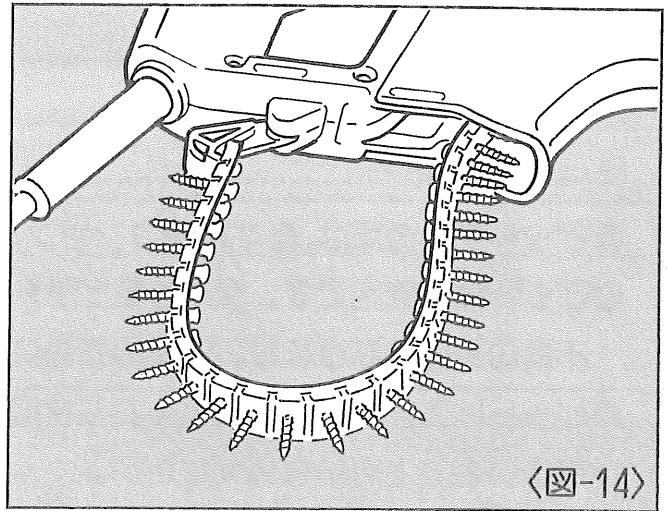




## ●シートフッカの使い方

充填したれんねじロング後端の空き穴を、シートフッカの突起にとめます。

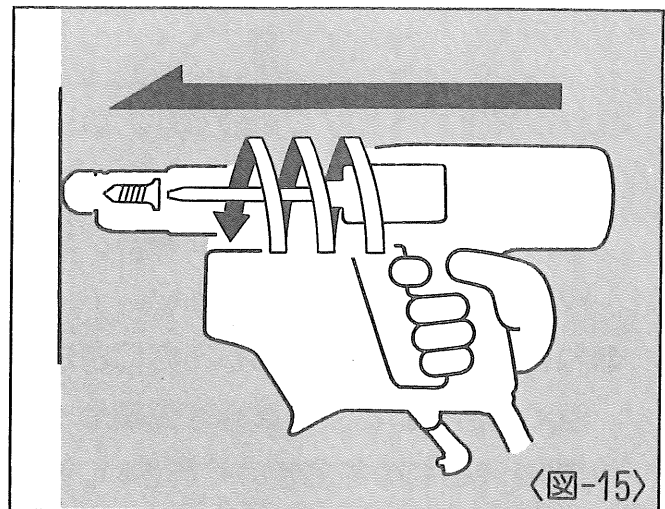
〈図-14〉



## ⑤ねじ込みの仕方

- ①ドライバのスイッチをONにして、モータ回転状態にします。
- ②ノーズを確実に石膏ボードに当て、本体を押し付けます。

〈図-15〉



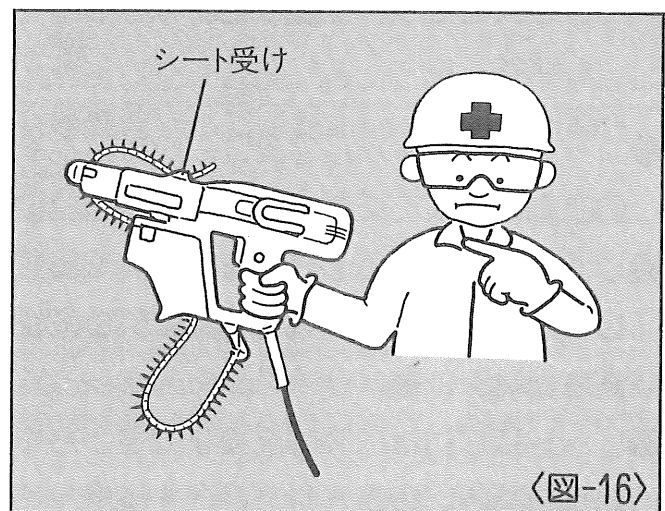
### ⚠ 注意

- 本体を押しつけてビットをねじに当ててからドライバのスイッチをONにするねじ込み方は、ねじ転び、打ち損じの原因になります。

スイッチを引いた状態でスイッチロックを押すと、指を離してもスイッチが入ったままロックされます。切る時は再びスイッチを引いてから離すと、ロックが解除され、モータは止まります。(P.14参照)

- ③排出されたシートをシート受けにさし込むと邪魔にならず、また取り回しも良くなります。


〈図-16〉



## 6 ビットの交換方法

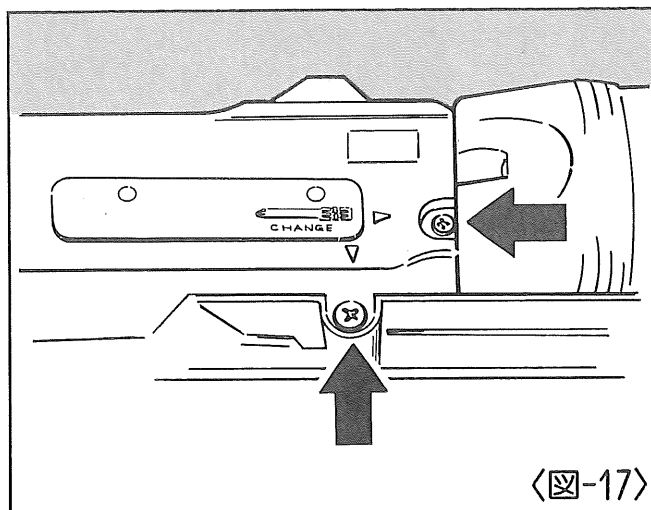
### ⚠ 注意


- ビット交換の際は、必ず電源コンセントからプラグを抜いてから行ってください。
- ビットは消耗品です。摩耗したビットを使うと、作業の能率を損ない、ねじ締め不良の原因となります。作業の初めにビットを点検し早めに交換してください。
- ビットは別売のマックスねんねじき用ビットB313H2を、お近くのマックス製品取扱い店でお買い求めください。

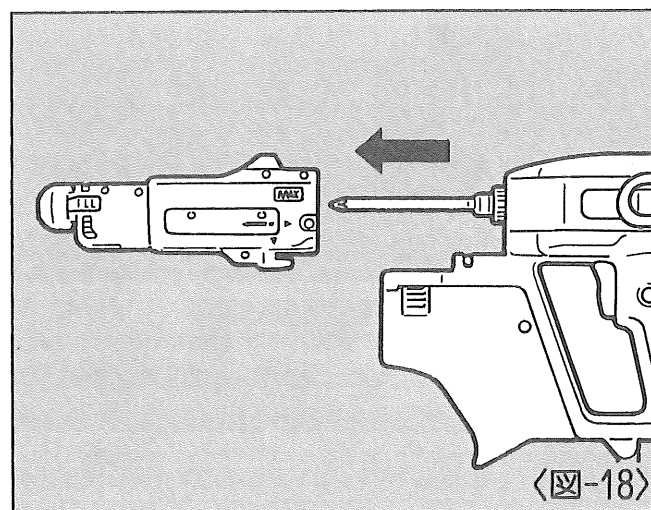
- ①ノーズホルダーの  マークの「▼」、「▶」の先のねじ2本を緩めます。  
〈図-17〉

### ⚠ 注意

- ねじは緩めるだけで十分です。ねじは裏側でナットどめになっています。ねじを抜いてしまった場合、ナットの紛失にご注意ください。
- ねじは慎重に緩め、ねじあなにご注意ください。ビットは必ず先端サイズNo.2のものをお使いください。他サイズのビットを使うと、ねじなめします。



- ②ノーズとノーズホルダをユニットごと  の方向に外してください。 〈図-18〉
- ③しっかりした台の上に本体を押えて固定し、ビットをペンチなどで取り外してください。
- ④ビット取り付けの際は最後まできつちりとさし込み、固定されたことを確認してください。
- ⑤ノーズとノーズホルダのユニットを取り



付け、ねじを締めます。ノーズホルダ後端とアダプタとの間に隙間が無いように注意してください。また、ねじは確実に締まっている事を確認してください。

# 7

## トラブルの解消方法

### ①ねじ詰まりの解消方法

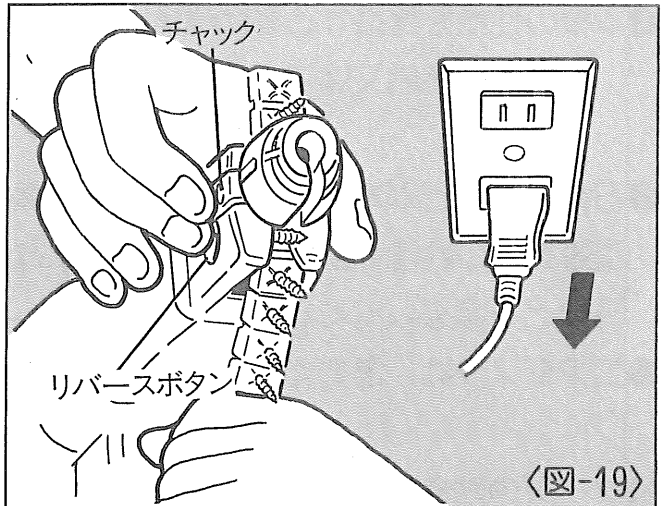
#### ⚠ 警告

●ねじ詰まりの解消の際は、必ずスイッチを切った状態で、電源からプラグを抜いてください。誤って作動させた場合、思いがけない事故につながります。

●ねじを先端部で詰まらせてしまった場合は、次の手順で解消してください。

1. スwitchを切って、電源プラグを外します。
2. チャックに咬ませてしまった場合は、指でチャックを両側からつまんで開かせながら、リバースボタンを押します。

〈図-19〉



3. そのまま、れんねじをマガジン側へ引き出してください。

4. どうしてもねじ詰まりがとれない場合は、無理をせずに、お近くのマックス製品取り扱い店か、マックスサービスセンターへお申し付けください。

### ②ねじ頭が石膏ボードの表面より沈まない。

#### ⚠ 警告

●各部の点検の際は、必ずスイッチを切った状態で行ってください。誤って作動させた場合、思いがけない事故につながります。

1. ねじ長さと、ノーズカバーが適合しているか確認します。(P.15の適合表を参照)
2. ねじの締め込み深さ調整 (アジャスタ) は適切な位置になっているか確認します。ねじ長さとアジャストナットの目印溝が、窓穴のふちにある目盛りに合っているかを見てください。(P.15を参照)
3. ビットを確認します。ビットに彫刻してある記号が「B313H2」であるか確認します。合ってもビットの先端が摩耗していたり、破損していることもあり、良く確認してください。
4. 原因が分からずに、ねじ頭が浮き沈みする場合は無理をせずに、お近くのマックス製品取り扱い店か、マックスサービスセンターへお申し付けください。

## 8 性能を維持するために

### ⚠ 警告

●本機を改造しない。

本機を改造すると本来の性能が発揮できないばかりでなく、安全性が損なわれますので、絶対に行なわないでください。

- ①本機の性能を維持する為に清掃、調整等を定期的に必ず行ってください。点検はお買い求めの販売店又はマックスサービス(株)にお申しつけください。
- ②石膏の粉などが本機に付着したまま作業を続けると、ノーズの戻り不良、ねじ送り不良等機械の性能を損なう原因となります。作業前後にエアダスタなどで石膏の粉、ゴミなどを除去してください。
- エアダスタは、お近くのマックス製品取り扱い店でお買い求めください。
- ③ノーズの動きが渋くなった時は、ドライシリコンスプレーなどベタつきの無い潤滑・滑走剤をスライド面に吹き付けてください。

### ⚠ 警告

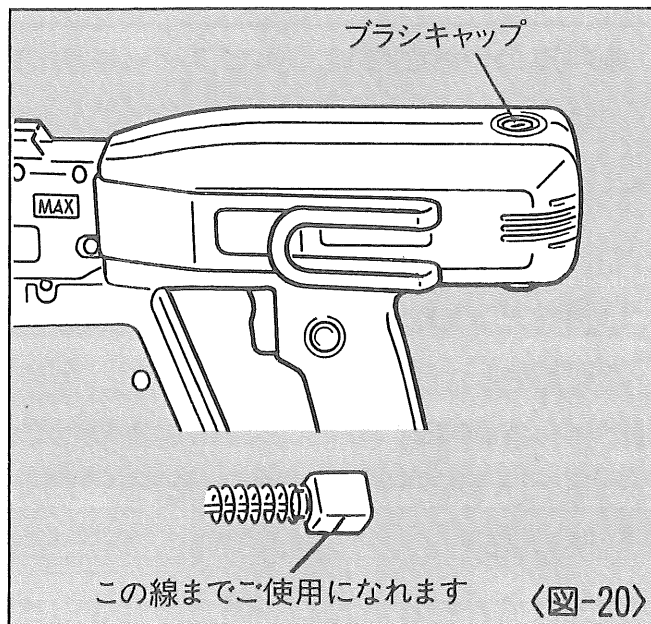
●グリス、オイル（スプレー式も含む）などベタつくものは絶対に塗布しない。  
石膏の粉が固着し、オーバーホール、清浄が必要になることがあります。

#### ④カーボンブラシについて

カーボンブラシは消耗品です。カーボンブラシは全長1/3（線の入った位置）程度に摩耗しましたら新しいカーボンブラシと交換してください。短くなったカーボンブラシをそのまま使用しますとモータ焼損の原因になることがあります。

〈図-20〉

カーボンブラシはブラシキャップを⊖ドライバーで取り外して交換します。カーボンブラシは2個1セットです。交換される時は指定のカーボンブラシを使用し、2個とも交換してください。



— MEMO —

Handwriting practice area consisting of 12 horizontal dashed lines.

— MEMO —

Handwriting practice area consisting of 12 horizontal dashed lines.

— MEMO —

Handwriting practice area with 12 horizontal dashed lines.



本社・営業本部	〒103 中央区日本橋箱崎町6-6	TEL(03)3669-8121(代)
東京支店	〒103 中央区日本橋箱崎町6-6	TEL(03)3669-8118(代)
札幌店	〒060 札幌市中央区大通り東6-12-8	TEL(011)261-7141(代)
仙台店	〒983 仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)236-4121(代)
名古屋支店	〒461 名古屋市東区徳川1-11-23	TEL(052)935-8531(代)
大阪支店	〒553 大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)444-2031(代)
広島店	〒733 広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-6331(代)
福岡支店	〒812 福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)411-5416(代)
盛岡営業所	〒020 盛岡市仙北町下野18-1	TEL(0196)35-5575(代)
宇都宮営業所	〒321 宇都宮市築瀬町字榎内2313	TEL(0286)36-3012
柏営業所	〒277 柏市若柴297-12	TEL(0471)32-1500
多摩営業所	〒187 小平市小川町2-1253	TEL(0423)44-6268(代)
川崎営業所	〒213 川崎市高津区久地597-1セブンエースト久地1F	TEL(044)844-4700(代)
浜松営業所	〒433 浜松市高丘町150-1	TEL(053)439-3300(代)
岐阜営業所	〒501-61 羽島郡岐南町徳田4-274	TEL(058)276-6551(代)
泉南営業所	〒596 岸和田市土生町2-30-39	TEL(0724)36-2211(代)
神戸営業所	〒658 神戸市東灘区田中町3-3-3	TEL(078)412-6220(代)
九州営業所	〒891-01 鹿児島市上福元町2578-1サンアベニュー1F	TEL(0992)69-5347
新潟マックス(株)	〒955 三条市東裏館2-14-28	TEL(0256)34-2112(代)
水戸マックス(株)	〒310 水戸市松ヶ丘2-3-27	TEL(0292)55-3761(代)
群馬マックス(株)	〒379-22 佐波郡赤堀町大字今井543-2	TEL(0270)62-1123(代)
埼玉マックス(株)	〒331 大宮市日進町3-421	TEL(048)651-5341(代)
千葉マックス(株)	〒284 四街道市大日1870-1	TEL(043)422-7400(代)
横浜マックス(株)	〒241 横浜市旭区さちが丘7-6	TEL(045)364-5661(代)
長野マックス(株)	〒390 松本市笹部1-6-25	TEL(0263)26-4377(代)
長野営業所	〒381-22 長野市青木島1-35-1	TEL(0262)85-6740(代)
静岡マックス(株)	〒422 静岡市敷地1-3-26	TEL(054)237-6116(代)
金沢マックス(株)	〒921 金沢市森戸2-15	TEL(0762)40-1871(代)
富山営業所	〒930 富山市上飯野字樋向割10-8	TEL(0764)52-0182(代)
福井営業所	〒910 福井市和田東2-1711	TEL(0776)27-3378(代)
京滋マックス(株)	〒612 京都市伏見区竹田段ノ川原町9	TEL(075)645-5061(代)
兵庫マックス(株)	〒673-04 三木市大村高柳109-1	TEL(07948)3-2121(代)
岡山マックス(株)	〒700 岡山市野田3-32-28	TEL(086)246-9516(代)
四国マックス(株)	〒761 高松市上天神町761-3	TEL(0878)66-5599
徳島営業所	〒770 徳島市末広2-1-17	TEL(0886)23-0286(代)
松山営業所	〒790 松山市市坪北1-17-1	TEL(0899)58-4031(代)
マックスサービス(株)本社	〒330 埼玉県大宮市宮原町2-99-5	TEL(048)667-6448(代)
マックスサービス(株)大阪	〒553 大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)446-0815
マックスサービス(株)名古屋	〒461 名古屋市東区徳川1-11-23	TEL(052)935-8210
マックスサービス(株)福岡	〒812 福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)451-6430
マックスサービス(株)広島	〒733 広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-5670
マックスサービス(株)仙台	〒983 仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)237-0778(代)
マックスサービス(株)札幌	〒060 札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)231-6487

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

●マックスお客様ご相談ダイヤル(無料) 0120-22-8358  
月～金曜日 午前9時～午後6時

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。